 色々な前転技に挑戦しよう。 色々な前転技に挑戦しよう。 1. 準備運動(加茂小体操) 2. 連続技の説明(1) 今できる技の確認 現段階の体力・技能を知るため、学習カード等を上の容言点を知る。(2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。(2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。(2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。(2) 自己に適した技で演技の練習(1) 接転技に取り組む (2) (1) ほん転技に取り組む (2) (2种) (2种) (2种) (2种) (2种) (2种) (2种)	きるようにする。 D接転技群の前転グループ技を行っ
世帯の大・実現力等 日ごの能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合むせ方を工大するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることできるようにする。 学びに向かう力、人間性等 マット 運動に関始的に取り組み、約束を守り助合って運動をしたり、仲間の考えを取録を認めたり、場や器域・器具の安全に気を促ったりすること。 活技のつくり力は、回転系のが、原が、クレンマルマンスはなつ声のを変え、接転技体の機能がよりよう。	きるようにする。 D接転技群の前転グループ技を行っ
学びに向かう力。人間性等] マット連動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや敗組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を起ったりすることができる。 「およってに習得した技を選び、それらにバランスをマッシップなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループ数を行かなして演技をつくったりすること。演技のつくり方は、回転系がたる。 り、側が倒が同転で1/4 0ねつて後ろ向き立ちになったり、本来の終末の姿勢と位異なるように条件を変えて技を組み合むせたりすること。 正統の自転技に挑戦しよう。 4 本権運動 (加度小体機)	
全校 「全校 「中国 「中国	
た後、ジャンプやペランス枝で力向を変え、接転技群の後転グループ技を15 点を技術の強力回転でループ技を15 方とと、いろいろな技器やグループ技で組み合わせること。また、前転でより	
1. 準備運動 (加茂小体操)	とを父左して仮り回さ立りになった
 色々な前転技に挑戦しよう。 自なな回転技に挑戦しよう。 1. 準備運動 (加茂小体操) 2. 連続技の説明 (1) 今できる技の確認 現段階の (力・技能を知るため、学習カード等を工夫する。き、技のボイントや安全上の収置点を知る。(2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 (3) 基本的な回転・倒立技の練習 (1) 接続技に取り組む (2) 要求した商転 (3) 原理した (4) 原理のよう。 (4) 接続技に取り組む (2) 平均寸ら技に取り組む (2) 所属 (2) 平均寸ら技に取り組む (2) 財政と (4) のよどの技や動きに取り組む (2) 財政し、総合・世に取り組む (2) 財政し、総合・世に取り組む (2) 技と技をスムーズにつなげるためのつなぎの技や動きに取り組む (2) 技と技をスムーズにつなげるためのつなぎの技や動きに取り組む (2) 財政し、総合・世に取り組むようにする。 (4) 接続技に取り組む (2) 技と技をスムーズにつなげるためのつなぎの技や動きに取り組む (2) 財政し、総合・世に取り組むよう。 (5) 技と技をスムーズにつながでるためのつなぎの技や動きに取り組む (2) 所能・足交差・後転・開脚後転・音友特別 (2) 所能・足交差・後転・開脚後転・音友特別 (2) 所能・足交差・後転・開脚後転・音友特別 (2) 所能・形びひねり一後転・頭倒立 (2) 所能・形びひねり一後転・頭倒立 (3) 係転・デキバランス・脈びひねりの一般転・用類 (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかり組む (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの一般をいかりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの (4) 保護・デキバランス・脈びひねりの (4) 保護・大力・トの (4) 保護・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・大力・	
1. 準備運動(加茂小体機) 2. 連続技の説明 (1) 今できる技の確認 現段階の体力・技能をあるため、学習カード等を工夫する。き、技のボイントや安全上の留意点を知る。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 (3) 平均立ち技に取り組む	のよいところやがんばったらよく
2. 連続技の説明	: を伝えより。 清運動(加茂小体操)
(1) 今できる技の確認 現段階の体 力・技能を知るため、学習カード等を 上夫する。き、技のポイントや安全上 の留意点を知る。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、 発表する。 3. 基本的な回転・倒立技の練習 (1) 技術技に取り組む ○安定した前転 ○安定した後転 ○大きな前転 ○開脚的転 ○開脚後 転 ○前方倒立回転が ○ロングート (2) 文と技をスムーズにつなげるた あのつなぎの技や動きに取り組む ○ フリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰 り返し、組合せに取り組むまうにする。 あのでは、の技やしかしてはない様のでは、のはいいなり、 なり ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰 り返し、組合せに取り組むようにする。 あのつなぎの技や動きに取り組む。 ○方と付けた技に応じて技の繰 り返し、組合せに取り組むようにする。 ま本技・発展技にバランス技を組み合わせた連続技を考える。 ※ パランス技の例っ ○ 角支神倒立(2秒) ○月皮側面木平立ち(2秒) ○パマバランス(2 (1) ほん転技に取り組む。 ○ 安定した前転 ○安定した後転 ○ フリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰 り返し、組合せに取り組むようにする。 あのつなぎの技や動きに取り組む。 ○ プリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰 り返し、組合せに取り組むようにする。 まなり をでしたがしたがします。 をでしたがしたがしたないにではの繰 の 「カントーサを組み「運動に取り組むべア」と「アドバイスをするペア」に分か をでしてアバランス一跳びひねり一後転一頭倒立 ② 簡転一跳びひねり一後転一頭倒立 ③ 簡転一跳びひねり一後転一頭倒立 ③ 簡転一跳びひねり 一後転一頭倒立 ⑤ 簡転一跳びいねり 一後転一頭倒立 ② 物を一手でパランス一跳びいねり一般をで頭倒立 ③ 簡を一跳びいなりの後転一頭倒立 ③ 簡を一跳びいなりの後転一頭倒立 ② 御立前転一がいるりの後転一頭倒立 ③ 簡を一跳びいなりの後転一頭倒立	用理 到(加戊小件保)
カ・技能を知るため、学習カード等を 上夫する。き、技のボイントや安全上 の留意点を知る。 (2) 自己に適した技で演技を構成し、 差まする。 3. <u>基本的な回転・倒立技の練習</u> (1) 接転技に取り組む	長方法の確認 おおおお こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しょうしん かいかん かいかん かいかん かいかい かいかい しゅう
	合せ技の場や動き方の例
の留意点を知る。	タ合わせる技や技の数によってスート(S)や ゴール(G)の位置を変
(2) 自己に適した技で演技を構成し、発表する。 3. 基本的な回転・倒立技の練習 (1) 接転技に取り組む ○ 安定した 後転 ○ 大きな前転 ○ 開脚前転 ○ 開脚後 転 ○ 的方、倒立回転眺び ○ ロンダート 内容 (2) 攻力のお技に取り組む ○ 安定した機転で減し ○ 補助倒立 ○ 明脚前転 ○ 開脚後 転 ○ 明力側立回転 ○ 頭側立 ○ 対リッジ ○ 前方倒立回 転 ○ 前を一段交差 ○ 眺びひねり一片足正面水平立ち一開脚後転一後転	
 発表する。 3. 基本的な回転・倒立技の練習 (1) 接転技に取り組む	,
3. 基本的な回転・倒立技の練習 (1) 接転技に取り組む ○安定した商転 ○安定した後転 ○大きな前転 ○開脚前転 ○開脚後 転 ○前方倒立回転跳び ○ロンダート ・ ○安定した随立て横跳び越し ○補 助倒立 ○側方側立回転 ○頭側立 ○ガリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むようにする。 ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むようにする。 かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~5人でグループを組み「運動に取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か 「・ 技術」 「	s
(1) 接転技に取り組む ○安定した前転 ○安定した後転 ○大きな前転 ○開脚前転 ○開脚後 転 (2) 平均立ち技に取り組む ○安定した腕立て横跳び越し ○補 助倒立 ○側方倒立回転 ○頭倒立 ○ ブリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むようにする。 ***********************************	
(2) 平均立ち技に取り組む	•S
指導 (2) 平均立ち技に取り組む ○安定した腕立て横跳び越し ○補 助倒立 ○側方倒立回転 ○頭倒立 ○ ブリッジ ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むようにする。 かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~5人でグループを組み「運動に取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か 「大きな前転 ○開脚前転 ○開脚後 転 (2) 技と技をスムーズにつなげるた めのつなぎの技や動きに取り組む の 「片足ターン ○足交差 ○跳びひねり の 「前転―足交差―後転―開脚後転―背支持倒立 の 「前転―足交差―後転―開脚後転―背支持倒立 の 「前転―足交差―後転―開脚後転―背支持倒立 の 「前転―上足交差―後転―開側立 の 「前転―外びひねり―後転―頭倒立 の 「後転―Y 字バランス―跳びひねり―前転―大きな前転 の 「前転―跳びひねり―後転―側方倒立回転―倒立 の 「向立前転―前転―上足足ターン―開助後転」開倒立 の 「カンダート―上足周面水平立すた―後転―開倒立	74
内容	● S
内容	→ G
内容)たちの実態に合った場での練習
### 1	
 ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むようにする。 かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~ 5人でグループを組み「運動に取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か ※ 児童が身に付けた技に応じて技の繰り返し、組合せに取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か (3) 前転一前転一跳びひねり一後転一頭倒立 (4) 発え・VTR (を転一) 要 (5) 前転一前転一片足ターン一伸膝後転一頭倒立 (6) クロンダートー片足側面水平立ち一後転一脚脚後転 	
り返し、組合せに取り組むようにする。	
かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~ 5人でグループを組み「運動に取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か」 (金女子―同本を変える) 少シンプで180度回転 ・ 技の ・ 技の (金女子―同本を変える) (金女子―の本を表し、一般でひねり一後転一頭倒立 (金女子―のよびひねり一後転一側方倒立回転一倒立 (金女子―のよびひねり一後転一側方倒立回転一倒立 (金女子―のよびひねり一後転一頭倒立 (金女子―のよびひねり一後を表し、一般を表し、一	- A
かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~ 5人でグループを組み「運動に取り組むペア」と「アドバイスをするペア」に分か」 (金女子―同本を変える) 少シンプで180度回転 ・ 技の ・ 技の (金女子―同本を変える) (金女子―の本を表し、一般でひねり一後転一頭倒立 (金女子―のよびひねり一後転一側方倒立回転一倒立 (金女子―のよびひねり一後転一側方倒立回転一倒立 (金女子―のよびひねり一後転一頭倒立 (金女子―のよびひねり一後を表し、一般を表し、一	
かかわりあい 技の習得に向け、お互いが見合い、教え合えるグループ学習を展開していく。4~ 5人でグループを組み「運動に取り組むペア」 と「アドバイスをするペア」に分か ③ 前転―前転―跳びひねり―後転―頭倒立 ⑤ 前転―跳びひねり―後転―側方倒立回転―倒立 ⑥ 倒立前転―前転―片足ターン―伸膝後転―頭倒立 ⑦ ロンダート―片足側面水平立ち―後転―開期後転	の知恵の O出来映えについて助言し合う。

5人でグループを組み「運動に取り組むペア」 と「アドバイスをするペア」に分か じ 倒立前転—前転—片足ターン—伸膝後転—頭倒立	
3人(ブルー)を組み、運動に取り組むべり」と、ケドバイスとするべり」にカが、 ⑦ ロンダート―片足側面水平立ち―後転―闘脚後転	
れ、数回取り組んだらペアごと入れ替わると運動する時間の無駄が少なくなる。 ① ロンタード 月足関面が干立り 複数 開脚複数	
4. 学習のまとめ 3. 学習のまとめ 3. 学習のまとめ 5. 学習	習のまとめ
5. 振り返り 4. 振り返り 4. 振り返り 6. 振り	
	そ会では、演技の前後に手をあげさ 深は終了後見ていたただればれる。
	演技終了後見ていた友だちは拍手 して友だちのがんばりをたたえよ
	こく及たらのかんはりをたたえよこ伝える。
「 こい/カロナスペアは 其本的に同葉の	」はなる。 易度の高い技よりも、ペアで息を合
の	
当 ましい。自分たちでペアを決めるよう 発展技のポイントを紹介し、取り組む るこ	
点にすると良い。 ようにする りま	たの間がなよりも、これを自動したいできた。とによって、これまでの「かかわ
※ 但し自分から声をかけにくい児童に こと	せて演技できたペアを取り上げる とによって、これまでの「かかわ りって」練習してきた取組を認める
は教師の配慮が必要。 知 (Plate Long)	せて演技できたペアを取り上げることによって、これまでの「かかわ
観祭・ICT	せて演技できたペアを取り上げることによって、これまでの「かかわらって」練習してきた取組を認めるこができる。 ③
	せて演技できたペアを取り上げることによって、これまでの「かかわって」練習してきた取組を認めるこができる。 ③ 観察
	せて演技できたペアを取り上げることによって、これまでの「かかわらって」練習してきた取組を認めるこができる。 ③
^E 観察・カード 観察・カード	せて演技できたペアを取り上げることによって、これまでの「かかわって」練習してきた取組を認めるこができる。 ③ 観察 ②

単元の評価規準

【シンクロマット(連続技)(マット運動)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
 ① マット運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ② これまでに習得した技を選び、それらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせて演技をつくったりする。演技のつくり方は、回転系の接転技群の前転グループ技を行った後、ジャンプやバランス技で方向を変え、接転技群の後転グループ技やはん転技群の倒立回転グループ技を行うなど、いろいろな技群やグループ技で組み合わせることができる。 ③ 前転で足を交差して後ろ向き立ちになったり、側方倒立回転で 1/4 ひねって後ろ向き立ちになったり、本来の終末の姿勢とは異なるように条件を変えて技を組み合わせたりすることができる。 	した課題を見付けている。 ② 手の着く位置や着地する位置,目線が向く場所などに目印をして,技のできばえを振り返り,自己の能力に適した課題を解決しやすい練習の場を選んでいる。 ③ 友達の手の着く位置や着地する位置,目線が向く場所に目印を置いて,動	② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方,技を観察するときなどのきまりを守り,誰とでも仲よく励まし合おうとしている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

(1) 知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① マット運動の行い方について、言ったり書いたりしている。	・ マット運動の留意点を友達や教師に詳しく伝えたり、カードに書いたりすることができる。
② これまでに習得した技を選び、それらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせて演技をつくったりする。演技のつくり方は、回転系の接転技群の前転グループ技を行った後、ジャンプやバランス技で方向を変え、接転技群の後転グループ技やほん転技群の倒立回転グループ技を行うなど、いろいろな技群やグループ技で組み合わせることができる。	・ これまでに習得した技を選び、それらにパフンスやシャンフなどを加えて組み合わせたり、ペアやクループで 動きを組み合わせて演技をつくったりする。演技の構成をいるいろか技群やグループ技で組み合わせること
③ 前転で足を交差して後ろ向き立ちになったり、側方倒立回転で1/4ひねって後ろ向き立ちになったり、本来の終末の姿勢とは異なるように条件を変えて技を組み合わせたりすることができる。	・ 前転で足を交差して後ろ向き立ちになったり、側方倒立回転で1/4 ひねって後ろ向き立ちになったり、本来の終末の姿勢とは異なるように条件を変えて技を組み合わせたりすることで連続技をより雄大に、美しく構成することができる。

(2) 思考・判断・表現

	単元の評価規準	「十分満足できる姿」
1	上手くできたところやできなかったところを、学習カードや掲示物などの連続図に目印や色をつけたり、シー・	連続技を一連の流れで実施するためにはどのような動きが必要かを考え、課題に応じて試行錯誤しながら取
	ルを貼ったりして、自己の能力に適した課題を見付けている。	り組んでいる。
2	手の着く位置や着地する位置、目線が向く場所などに目印をして、技のできばえを振り返り、自己の能力に適・	手の着く位置や着地する位置、目線が向く場所などに目印をして、技のできばえを振り返り、自己の動きをよ
	した課題を解決しやすい練習の場を選んでいる。	りよくする行い方を選んでいる。
3	友達の手の着く位置や着地する位置,目線が向く場所に目印を置いて,動きのできばえを友達に伝えたり書い ・	友達のよい動きの特徴を、擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり、カードに書いた
	たりしている。	りしている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 連続技に進んで取り組もうとしている。	連続技への習得に向け多様な行い方を進んで試している。
② 場の正しい使い方や試技をする前の待ち方,技を観察するときなどのきまりを守り,誰とでも仲よく励まし合おうとしている。	自分が楽しむだけでなく、グループの友達を励ましたり、応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 動きや気付いたことを伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。	・ 動きや気付いたことを伝え合う際に、友達の課題を自分事として捉えその解決方法を考えている。
⑤ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく、周囲の安全にも気を配っている。